

糸田町議会だより 第13号



3月定例会 おもな内容

平成29年度 町の
予算が決まったよ。
12~13ページを
よ〜く見てね!



ギカイくん

議会改革に向け研修視察	P2 ~ P3
一般質問(町政を問う)	P4 ~ P10
当初予算	P12 ~ P13
委員会審査	P14 ~ P15
まちはどうなっちょうと	P16
(命を守る施設完成)	

町内のどこに咲く花
でしょう!
答えは17ページに
あるよ!!



たよりちゃん

町村議会議員研修会(福岡県町村議会議長会主催)



- 日時 1月19日(木) 午後1時30分～午後4時20分
- 場所 パピヨン24 ガスホール(福岡市)
- 内容
 - ▶演題「地域の再生と創造を担う人材育成の取り組み」
講師 片岡寛之氏 北九州市立大学 准教授
 - ▶演題「安倍政権の課題とこの国の行方」
講師 伊藤惇夫氏 政治アナリスト
- 参加者 議長：井手元正人・副議長：中原 詔蔵
竹田 照美・松瀬 征行

毎年、議員資質向上のため、開催されているよ



田川郡議会議長会行政視察

- 日にち 2月1日(水)～2日(木) ■場所 宮崎県 宮崎市
- 内容
 - ▶エコクリーンプラザみやざき
焼却施設は、環境・安定・安全・経済性を比較検討し、ストーカー方式に決定。リサイクル工房は、社会福祉法人に委託し、ごみのリサイクルと障がい者支援に貢献できる事業を実施。各市町等の負担割合は、事業の種類により、ごみ量・人口・均等割で按分している。今後、し尿及びごみ施設の運営管理が始まった場合は、この研修内容を参考にして、検討していかなければならない。
- 参加者 議長：井手元正人



△ 処理操作室を見学

水道事業に係る議員研修会

- 日時 1月17日(火) 午前10時
- 場所 糸田町住民センター(役場内)
- 内容
 - ▶水道事業が抱える主要課題
 - ▶水道広域化の必要性と先進事例
 - ▶田川地区1市3町での取り組み
- 参加者 議長：井手元正人・副議長：中原詔蔵
竹田照美・小嶋康子・田中隆之・早麻章三・谷口輝昭・松岡 久・村上秀二・城島信幸・松瀬征行

▽ 田川地区水道企業団より説明



糸田町指定文化財 田植祭

- 日時 3月15日(水) 午後3時30分
- 場所 金村神社
- 定例会中に総務文教振興常任委員会、建設厚生常任委員会で調査活動
- 内容
 - ▶五穀豊穡の模擬農耕(オカツ、ムクデ、牛など)
 - ▶田植舞など
- 福岡県の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財選択案件となりました。



議会改革に向け研修

3月8日の平成29年第1回定例会本会議で議長より報告

糸田町議会議員県外視察研修

- 視察・研修日 1月25日(水)～27日(金)
- 視察・研修場所 鹿児島県 志布志市・鹿児島県 霧島市・宮崎県 都城市・宮崎県 小林市
- 参加者 議長：井手元正人・副議長：中原 詔蔵
議員：山田陽一・竹田照美・小嶋康子・田中隆之・谷口輝昭・村上秀二・松瀬征行

平成29年1月25日から27日まで、志布志市、霧島市、都城市、小林市において、全議員を対象とした視察研修を実施した。

志布志市(ごみ減量)は、徹底にごみを減らし、処分場の延命を図ることを決断。職員により、市民にその意識を浸透させたことは、成功した原動力の一つであるが、やはり、市民一人ひとりの「心構えとやる気」に尽きると思う。
糸田町 ごみを分ければ資源という取り組みは、糸田町でも意識向上に努め、まず、出来るものから、ごみ減量及び経費の削減になるよう研究していくべきである。



△ 廃油(食用油)を燃料に再生

都城市(ふるさと納税)のふるさと納税は、平成27年度、42億円で日本一となり、28年末では、71億円となっている。都城市にとってのふるさと納税は、地方創生の重要施策であるが、PRのツールであって税収をあげる目的のものではないというのが基本姿勢。
糸田町 土地も狭く、人口も特産品も少ない糸田町を、ふるさと納税を含め、どれだけ愛し、努力するかが一番重要である。



市のPRロゴ

霧島市議会(議会改革、タブレット)は、各地域を回りながら、市民及び各種団体と意見交換をおこない市政発展の参考にしている。△ 議場内
自由討議については、委員で自由に議案について討議し、討議の内容について、委員長報告に反映。
反問権については、議会からの提案により実施。導入当初は、感情的になることもあったが、現在は、議員も「調査して質問するべき姿勢」を、執行には、「市政発展のための建設的な反問」であることなど協議し、進めている。



タブレット

糸田町 タブレットは、電子決済により、見える化を図っているが、ペーパーレス化等を考え、もう少し、進めた活用を検討したい。
今後は、糸田町にあった基本条例制定に向け、議会報告会、自由討議、反問権など議会改革を進めていきたい。



△ 調理室はガラス張り

小林市の小林東方学校給食センターは、ドライ方式を採用し、災害時の対応を始め、食物アレルギーや食品ロスなど、衛生管理マニュアルに従い、徹底した管理がおこなわれている。
また、給食費の滞納額は、0円とのこと。給食費は、学校で管理し、職員等の関与は、無いとのことであるが、自宅訪問等の努力は見習いたい。
地産地消についても、地元産、県産、その他の順に発注し、米は100%地元産である。
糸田町 糸田町においても、地産地消、特に米などについて給食の実態を調査研究していく必要がある。

町政を問う!!

一般質問とは

議員が町の仕事全般について、質問したり、政策提言をおこなうことで、糸田町議会では通常一人50分以内でおこない、議会だよりには、要約したものを掲載しています。

11番 松瀬 征行 議員



Q 町営宮床団地新棟について、A棟B棟入居状況を問う。

A 各棟27戸完成の中でA棟、B棟共、27世帯入居している。

質問 滞納なし入居世帯の確認。滞納のため入居不可世帯数、滞納なしで入居拒否世帯数を問う。

答弁(課長) 2棟共、滞納入居世帯はなし。滞納のため入居不可世帯は7世帯。滞納なしで入居拒否世帯は6世帯。

質問 町営宮床団地新棟の新家賃について。

答弁(課長) A棟、B棟の2DKは、基本額の最低額が1万9千6百円、最高額が5万2千円、3DKは、基本額の最低額が2万5千3百円、最高額が6万7千円。

ただし、緩和措置として旧家賃と新家賃の差額を6で割り、1年ごとに6分の1ずつ段階的に上げ、6年間で満額となる仕組みになっている。

Q 新棟の空駐車場の対応について。

A 1世帯1台が駐車場の基本。

質問 新棟の空駐車場の対応について。

駐車場の必要がない入居世帯は、空駐車場になるが2台分希望世帯は昇ると出ている。糸田町の通学路は5M未満の所が多い。



1番 山田 陽一 議員

Q 通学路の安全確保について(ゾーン30、スクールゾーン指定)。

A(課長) 指定については、住民の理解と協力が必要不可欠と考

A(教育長) 安全が確保できるように今後、関係者で取り組んでいく。

A(町長) 指定は子どもを守る上で行政のできる得策、頑張つて進めたい。

質問 私は平成25年9月定例会でゾーン30について質問をおこなった。警察庁によると道路幅員が5・5M未満の道路においては、車と人の衝突事故では車の時速が30キロを超えると死亡に至る危険性が上



△ 県道香春・糸田線(役場前)

答弁(課長) 旧役場通り、小学校、中学校前の県道はいずれも今時点で既に30キロ規制となっている。したがって、学校を中心とした一定の区域を指定するゾーン30よりも、スクールゾーンの指定の方が効果的ではないかと考える。

現在、通学路の安全対策に関しては、糸田町通学路安全推進会議が組織され、通学路交通安全プログラムを策定して取り組んでいる。今後スクールゾーンの指定については、住民の理解と協力が必要不可欠と考える。推進会議を中心に協議、検討していく。

どの様になるのか。

答弁(課長) 1世帯1台が駐車場の基本ですが車を持たない部屋主が申請されれば駐車を許可する。その後は、自治の運営に任せる。

答弁(町長) 条例では、1台、2台とうたっていないので皆さんと協議し快適な生活が送れる自動車環境に頑張る。



△ 新築宮床団地駐輪場

Q 4棟(C棟、F棟)の竣工計画のスケジュールについて。

A 平成29年度は、C棟と集会所の解体・造成・周辺道路の工事を計画。

答弁(教育長) 中元寺川通りも危険と声があるので安全が確保できるように今後はゾーン30は少し難しいが、スクールゾーンについては関係者で取り組んでいく。

Q 歩道設置について。

A 対策が必要であると判断されれば確認をおこない検討している。

質問 県道は道路拡幅をする時に一緒に、広い歩道を設置してほしい。

答弁(町長) 危険箇所として対策が必要と判断されれば現地確認をおこない、検討しているところ。



質問 4棟(C棟、F棟)の平成30年度以降計画と戸数を問う。

答弁(町長) 平成30年度建設工事に着手してC棟の入居は、平成31年度、D棟及び浄化槽工事が32年度、E棟が34年度、F棟が36年度完成予定だ。C棟、D棟、E棟は各全て31戸、F棟が23戸の計画である。



Q 家賃滞納防止の為、連帯保証人の「信用」チェックについて。

A 申し込み時に連帯保証人の収入申告等提出させている。

質問 家賃滞納防止の為、連帯保証人の「動静、消息」チェックについて。

答弁(町長) 動静は、町内者と限らずチェックしている。重要なので担当者と全力で取り組む。

Q 定住促進について。

A(課長) 大熊分譲団地は2年間で8区画を販売、うち町外者が7区画購入。

A(町長) 町全体の活性化事業に今全力で取り組んでいる。

質問 平成27年度から定住促進に力を入れてきている。大熊団地は、土地が売れて建設がされている状況がわかる。町有財産の土地の販売だけでは大幅な定住促進につながらないと思う。空き家等を活用した対策があると思うが、執行でより良い政策を探してほしい。

答弁(課長) 基本目標に沿った施策を現在展開している。本年度で2年目になる。大熊団地は2年間で8区画を販売、うち町外者が7区画を購入、移住定住促進を着実に進めていくためには、住民生活に直結する生活分野に係る事業効果をより向上させていくことが重要であると判断している。

答弁(町長) 地方創生事業で遊園地計画も推進している。空き家対策を進めたいと思っている。関連して、商店街の空き家について、商工会の指導員とお互いに力を合わせて有効利用に向けて検討すること話し合いをした。

7番 松岡 久 議員



Q 施政方針の中で子育て支援の目新しい支援策を問う。

A 病児・病後児の医師意見書手数料の助成を実施。

質問

町長の施政方針の中で安心して子育てができる負担軽減の方針が述べられていた。現在子育て支援の中には、子育て支援金支給制度、子ども医療費支給制度、ひとり親家庭等医療費支給制度が有りますが、今年度における目新しい支援策について問う。

答(昇課)

新たに取り組むことは、松岡議員より指摘を頂いていた病児・病後児の対策、既に田川市、香春町は実施している病児・病後児の預け入れの際に必要な医師の意見

書の手数料を助成するため、新年度より予算の計上をおこなった。



Q 平成27年度町税の滞納繰り越し分の収入未済額を問う。

A 滞納繰り越し分の収入未済額は、約10億3千3百万円徴収率5・3%。

質問

平成27年度の町税及び上水道使用料の滞納繰り越し分の調定額に対する収入未済額と徴収率を問う。

答(昇課)

滞納繰り越し分の調定額は、11億7百9拾5万7千2百4拾5円、収入未済額は、10億3千3百7拾万5千5百7拾7円で、徴収率は5・3%。

Q 子育て支援や少子化対策として、学校給食費の無償化を問う。

A 給食費の無償化について賛否両論ある。

質問

公立小・中学校の給食を無償で提供する自治体が全国で少なくとも55市町村ある。その半数がこの3年間で無償化している。大半が、子育て支援や少子化対策、つまり人口減少対策として取り組んでいる。町長の施政方針にも自主財源の乏しい中無駄を排除し、住民サービスの向上に務めると述べていた。

11億円の滞納金、徴収率を1%上げることで、約1千1百万を税として予算が組める。昨年、債権対策班が設けられ頑張ってもらっている。収入の成果を上げて、糸田町も学校給食の更なる改革、学校給食費の補助の増額、給食費の無償化について町長の考えを問う。

答(昇課)

給食の無償化については賛否両論ある。生活保護家庭や低所得者家庭には、就学援助制度がある。無償化が実施された場合、そ

ういう家庭との差、そういう事も考慮した中で、今後国が奨学金制度みたいな状況で問題解決に進んで行くと思う。

今現在、無償化に取り組むと3千万強の持ち出しが必要。私も無償化に持っていきたい、田川地区において遅れるようなことだけはないように強い思いを持っている。



△平成28年11月24日 総務文教振興常任委員会の調査活動写真より

Q 糸田町の外国語指導助手A.L.Tの現状を問う。

A 糸田町のA.L.T外国語指導助手は常駐でなく派遣。



Q 駐車場の増設に大いに関係する県道添田赤池線の進捗状況について。

A 完成年度については、はっきり確認してはいない。

Q 保安林解除申請についての進捗状況についても如何か。

A 思うように進展していないのが平成29年度中に何とか解除の完了をしたい。



△道の駅いとだ

Q 道の駅繁栄の為の周辺散策道の建設についての町長の考えは。

A 周辺開発その実現に向けて努力していきたいと思っている。

8番 村上 秀二 議員



Q 道の駅の長き発展の為の対策として周辺の開発に取り組んでは。

A まずは駐車場の増設と周辺の保安林の解除を取付けること。

質問

今糸田町では前町長の遺作とも云える道の駅が軌道に乗りにつつある。しかしこの事業もいつ競争相手が出てくるかもわからない。今ここで糸田町の道の駅がいつまで繁栄するように万策に取り組みべきではないか。例えば道の駅の駐車場を出発点としてあじさい園や泌泉公園、また水落の滝や烏尾峠から田川を一望するすばらしい景色などこれらを取り込んだ散策道を建設して、又道路の側面には桜、あじさい、も



△金山工場用地入口

みじなど異なった季節の花木を植え、そして一年の大半を楽しめるような色々なコースを作ってみてはどうか。道の駅の駐車場に車を駐車して家族連れやグループや友人達の散策が始められ行き復りは必ず道の駅を経由する訳で、おのずと道の駅には立ち寄り道の駅もにぎわうと思う。山のすがすがしい空気と峠から田川を一望するすばらしい景色は何もない糸田町にとっては何物にも替えがたい唯一の財産ではないか。これをほうっておく手はない。これ等

をうまく取り込みすばらしい散策道を作り道の駅との相乗効果を計画してはどうか。

答(昇課)

道の駅周辺の開発についてということだが先程から議員が言うように二つの大きなポイントがある。一つは県道添田赤池線の完成、もう一つは金山のあじさい園を中心とした保安林の解除、この保安林の解除がされないと約1万3千平方メートルの企業誘致の予定地が何も前進しない。

おかげで今、平成23年4月に道の駅を開設して、丁度6年を迎えた。当初2億数千万の売り上げも、今年間3億に到達している。着実に伸びているが、議員が言うようにトンネルの向こうに類似施設が出来る。そういう話が伝わってきている。そういう施設が出現しても元気をなくすことなく、売り上げを落すことなく、充実した魅力のある道の駅でありたい、そういうふうに取り組んでいきたい。それには道の駅本体も頑張らなくてはならないが、議員が言うとおり、それを取り巻く周辺開発、その実現に向けて今後努力していきたい、そういうふうに願っている。

9番 中原 詔蔵 議員



非常勤の地方公務員のポナス支給問題について問う。

条例改正を、私も皆さんと同時に喜んで、時を待ちたいと思う。

平成28年12月のマスコミ報道によると、地方自治体で働く非正規公務員の採用や処遇のあり方を検討してきた総務省の有識者研究会は、非正規公務員にも賞与などの手当てを出せるよう法改正を求め報告書をまとめた。総務省は今後必要な法改正の検討に入るとのことである。

また、総務省によると、自治体の非正規公務員は28年4月時点で、約64万5千人、地方財政が苦しい中、教育や保育を中心に増え続けていることである。身分が不安定で、処遇改善が課題になっている。このように述べられている。国の政策であり、現時点ではどのように決定されるのかわからないが、このことについて町長のご所見を、尋ねる。

現在、総務省において非正規職員の待遇を改善するため、昨年の7月から有識者の研究会等で議論が進められている。これにより、地方自治法も改正されなければならない。私も糸田町の条例等をチェックしたが、いずれは本町の条例改正を、私も皆さんと同時に喜んで、時を待ちたい。そのように思う。これは格差是正の極めて重要なことだと、認識している。

民間の同一労働、同一賃金の国の政策であろうと思う。

実は、本日の3月8日の朝刊に、非正規公務員に賞与規程、法改正案閣議決定、このように報道されている。

また、総務省によると、自治体の非正規公務員は28年4月時点で、約64万5千人、地方財政が苦しい中、教育や保育を中心に増え続けていることである。身分が不安定で、処遇改善が課題になっている。このように述べられている。国の政策であり、現時点ではどのように決定されるのかわからないが、このことについて町長のご所見を、尋ねる。

頭の部分を紹介すると、「地方公務員法と地方自治法の改正案が7日閣議決定された。自治体で働く非正規公務員の採用の根拠をはっきりさせ、期末手当(賞与)を支払われるようにすることを明記した」と、こういう内容である。今後国の施策に沿って、検討をお願いしたいと思う。



重症心身障害児向け施設の整備について問う。

国や県の動向を注視しながら、早めの対策という形をとっていく。

利用者の気持ちに立って、この問題に取り組みしていきたい。

旧糸田交番跡地を糸田駅に解放できないか。

今後、住民にとって最適な利用を検討したい。



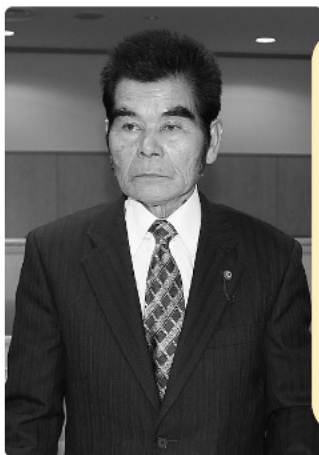
△旧糸田交番跡地(糸田駅横)



よって、更なる地域の活性化を目指すという事ようである。この事を契機として、更に祭の環境整備を進める。具体的には、糸田城址公園として、3百年の祭の歴史に、更に7百年の糸田城の歴史を加え、祇園祭を更に発展させるべきで、勿論、町民の生活を守るとい事が一番であるが、歴史に光を当て歴史の町糸田をつくるのは如何か。

歴史に光を当てて、糸田を発展させる事。全く同感である。私も前向きには考えているが、個人の土地、道路問題、駐車場の確保等の問題があり、先ず学童保育の学び舎等をしたい。それ迄の時間はソフト面で中味を詳しく吟味、検討して、今後城址公園なるものが出来た時に、皆さんにお伝え出来るようにしたい。

5番 早麻 章三 議員



文化財に対する行政の姿勢を問う。

数多くの歴史遺産を活用し観光振興等につないで活性化を計る。

行政の文化財に対する姿勢を問う。

天井絵を始め、泌泉、岩屋古墳、糸田城址、松ヶ迫遺跡等。数多くの歴史遺産を巧く活用し、観光振興等につないでいく事も、町の活性化には必要である。観光として人を呼び込む事が重要であり、日頃からの保全管理と共に、多くの人に興味を持たせる事から進めていくべき。



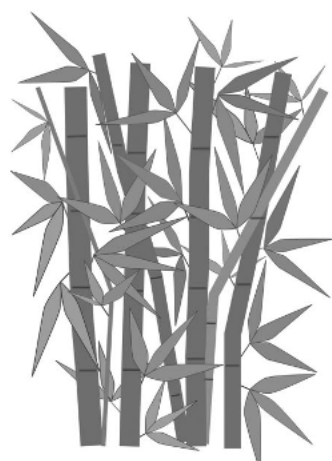
△泌泉

旧城小学校跡の竹やぶ伐採の中止について問う。

見捨てるわけではなくタイミングを伺いたい。

中下糸田の有志により、糸田城址内にある、旧城小学校跡の竹やぶを、環境上からも、地域住民の要望もあり、伐採を始め、その後、町の応援により、竹やぶも元継いだり、中止となり、竹やぶも元の姿に。予算も無駄使いとなり、地域住民の歴史に光を当てる芽を摘んでしまった。町長の見解を問う。

糸田の歴史に関わる貴重な場所だという事は、私も全く同感であるが、後世に伝える為に、これは見捨てる訳ではなくタイムリミットを伺う。そういう答弁が宜しいかと思う。



糸田祇園山笠の受賞に伴い更に周辺の環境整備を進めては如何か。

同感であるが住民サービスに関する方などを先にしたい。

昔から城はふるさとの象徴として守られており、すなわち心の寄り所。シンボルとして住民に誇りと安らぎを与えてきた。戦時中、アメリカは、日本の城を武士道の象徴として捉え、それを破壊する事により戦意を砕き、日本国民の武士道の消失を狙う戦法をとり、全国にある城を狙い撃ちにしたといわれている。その中で姫路城が残ったのは奇跡的だと言われている。

世の中は空前の城ブーム。「真田丸」は大ヒットで終わり、次の作品である「おんな城主直虎」に熱い視線が注がれている。そして戦国武将ゆかりの城には、多くの人が押し寄せている状況である。

この度、糸田祇園山笠が、ふるさとイベント大賞の優秀賞を受賞したというビッグニュースが入ってきた。県に於ても3年振りの快挙という事。これは地域の活力を生み出すイベントを表彰し、全国的に紹介する事に



△旧役場上

平成29年第1回糸田町議会定例会 (3月8日~3月21日)

「○」賛成 「×」反対

議 果	議 案 名	結果	議員																		
			山田	竹田	小嶋	田中	早麻	谷口	松岡	村上	中原	城島	松瀬	井手元							
議 果	糸田町空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	糸田町ふるさと応援基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	糸田町奨学金給付条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	糸田町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	糸田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	糸田町個人情報保護条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度糸田町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度糸田町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度糸田町学校給食センター事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度糸田町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度糸田町上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	福岡県田川地区消防組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員候補者の推薦について 2名	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	糸田町教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
糸田町消防委員会委員の選任について 3名	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
糸田町農業委員会委員の任命について 14名	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議会臨時会

平成29年第1回糸田町議会臨時会 (2月6日)

議 果	議 案 名	結果	議員																	
			山田	竹田	小嶋	田中	早麻	谷口	松岡	村上	中原	城島	松瀬	井手元						
議 果	糸田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	糸田町特別職の職員で非常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※ 議長に採決権はないため「一」としています。可否同数の場合のみ裁決権を行使します。
※ 「欠」は欠席

議員報酬引き上げに関する臨時会議決までの概略

平成28年12月定例会

▶ 町民の代表で組織される報酬審議会(町長からの諮問委員会)。全4回の慎重審議により、答申を受け、執行部より議案上程。

↓

総務文教振興常任委員会で審査(平成28年12月13日)

▶ 委員より「糸田町の将来のため、若い人が町政に携わりやすくするためにも、より慎重審査する必要がある」として、継続審査となる。

総務文教振興常任委員会(平成29年1月16日開催)

▶ 継続審査となった案件について、慎重審査した結果、報酬を上げることは、焦らずじっくり議論する必要があり、時期も考えなければとの意見と、一方、糸田町の将来を考え、報酬審議会の答申のとおり改正するべきであるとした意見もあり、意見が分かれましたが、採決の結果、賛成多数により原案のとおり委員会で承認。

平成29年第1回臨時会の反対討論、賛成討論(抜粋)

▶ **反対討論**

- ▶ 他町村と同様に平均の報酬額に上げる必要があるのか疑問。
- ▶ 改正時期は次の選挙後でもいいのではないかと。
- ▶ 他町村並みに引き上げをおこなうなら、福祉サービスも復元すべきで、介護・福祉の充実を図らねば、均衡がとれない。
- ▶ 段階的にプロセスを踏んで、緩やかに改正したほうがよいのではないかと。

▶ **賛成討論**

- ▶ 社会情勢の厳しさにより、報酬の見直しは20年間見送られてきた。政務活動費も一切なく、郡内7町村で最下位。今回報酬審議会において、郡内他町村との均衡を逸しない範囲として答申を受けたもの。
- ▶ この条例が可決されれば、町のために協力いただいている非常勤特別職の報酬においても、これをもとに検討できる。
- ▶ 自分たちのためよりも糸田町を背負っていく次世代の若者に、狭き門を少しでも開けてやることこそ、責任ある議会の義務である。



3番 小嶋 康子 議員

Q 品質の確保、価格が見える透明性、公正な公共事業の分離発注を問う。

A 分離発注がよかつたと言われる方向を検討してみたい。

質問 全国市町村の7割が分離発注に取り組んでいる。過度な価格競争がかえって品質を落とす懸念があり国も推進している。中小企業庁が出している適切事例では「細分化することにより、小さな家電店に幅広く発注、疲弊した地域経済活性の一助になった」という徳島県の報告がある。入札価格がきつい場合、どうしても下請けに値引きをして小さな業者が泣くような思いをすることもあるのではないかと。公正、価格が見える透明性、町を元気にする推進を問う。

答弁(町長) 行政の事務量、町内業者数も考えなければならぬ。さらなる分離発注は、それに伴うプロデュースの事業計画は、メリット、デメリットがある。情報を集めて研究したい。

町ではケース・バイ・ケースでその場に合ったやり方で分離発注、あるいは一体型でやっている。直近の工事では、宮床団地の道路工事は、2工区に分けて舗装と土木両方だが、あえて町内に舗装業者の専門家がいなかったら土木と分離せずに一つで出した。

将来分離を考えなければいけないと感じた。極力分離できるものは分離して、地元の業者が少しでも活力になるようにという気持ちは忘れない。

Q 町からのお知らせ、情報発信の徹底した周知を問う。

A(課長) ミニ展示板の設置は商工会と協議を重ね対応したい。

A(町長) 住民センターに町民広場掲示板設置を早急に考えていきたい。



△ 住民センター

質問 制度の改正、高齢者福祉サービス、子育てサービスそういった情報がなかなか網羅されていない現実がある。住民センターに糸田町情報広場をつくってはどうか。定住促進などの情報は、居酒屋やスーパー等に協力していただきミニ掲示板など設置でいろんな場面で情報が得られる町づくりにはどうか。

答弁(課長) ミニ掲示板設置が可能であれば、ホームページ、広報紙、行政掲示板等の情報発信ツールとしてより確実性をもった情報発信ができるかと考えている。ただし民間施設となれば展示場所のスペース、方法など店舗によって課題が多くあると考えられる。協力事業者への呼びかけ等、商工会と協議したい。



Q 食品ロスの削減をする運動を町で取り組んでどうか。

A(町長) 食べ残し、食品の消費期限切れによる廃棄がごみ発生の一つの要因。

A(町長) ごみ減量に対する意識の向上と協力を周知、広報紙等で呼びかけたい。

Q 小型家電(携帯電話・パソコンゲーム機等)の回収ボックスを問う。

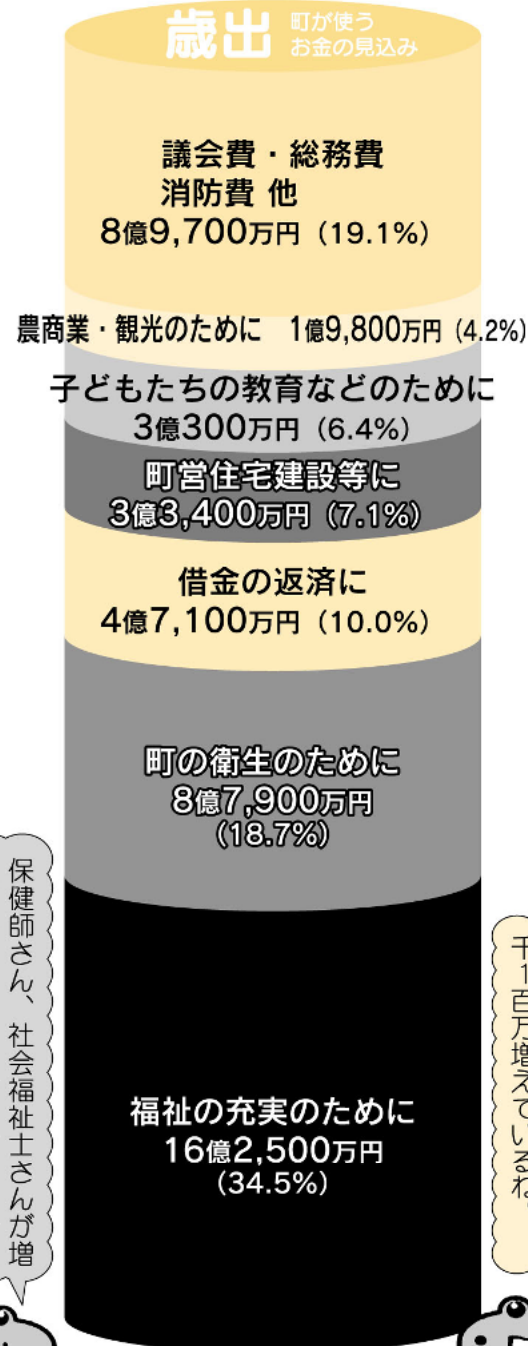
A(課長) 再資源の促進に関する法律が平成25年から施行されている。

A(課長) 福智町と協議の上取り組むことが懸命ではないかと判断している。

平成29年度 一般会計予算決まる

47億700万円

※100万円未満四捨五入
※各事業費は万円未満四捨五入



保健師さん、社会福祉士さんが増えているのも一因だね。これで福祉サービスがもっと向上するね。

今年度は福祉の予算が約2千1百万増えているね。



区分	予算
糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計	9億2,000万円
糸田町上水道事業特別会計	2億2,500万円
国民健康保険事業勘定特別会計	14億5,000万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,900万円
学校給食センター事業特別会計	7,300万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,000万円

災害時の備蓄品 約477万円

- 説明**
- ▶ 水道課 (非常用飲料水袋500袋) 約22万円
 - ▶ 住民課 (飲料水など約53万円、備品購入費・歩行器約4万円)
 - ▶ 福祉課 (マスクなど約5万円、食料品など約64万円、毛布等借上料約7万円)
 - ▶ 地域振興課 (災害時用食糧費約30万円、日用品約70万円)
 - ▶ 総務課 (マジックライス約6万円、テントなど購入費約218万円)

Q 備蓄品が無駄にならない取り組みは。
A 期限までに使い切る。
Q どんなものを備蓄するのか。
A 3日間、1,500人分を用意(食品)、生理用品、紙おむつ、粉ミルクなど。
 ※要望…液体ミルクなども検討してほしい。



病院改革プランに伴う 一般会計から繰出金 約4,500万円

説明
 平成29年度繰出金 約1億6,818万円
 内病院改革プランに係る分 4,500万円
 借入金の返済のため
 計画期間は平成29年から平成32年の4年間
 ● 国の交付税の中に病院への負担金も含まれる。



子育て支援関係

- ▶ 病児病後児保育補助金
説明 田川市病児病後児保育室「ひまわり」(田川市立病院横)に預ける時の医師の診断書補助
 病児病後児保育とは「生後3か月から小学校6年生までの児童が病気で集団生活が困難であり、かつ家庭で育児できない場合に児童を一時的に預かるもの」
- ▶ 多目的トイレベビーシート設置工事
 子育て支援室に対応するため 約25万円
- ▶ 子育てワンストップサービス接続使用料 約60万円
説明 オンライン申請を可能とするもの
 (児童手当の現況届、保育施設など利用申込書など)
- ▶ 児童福祉施設補修工事
説明 保育所の倉庫屋根、地区の児童遊園など 約181万円

利用開始時期はホームページや広報紙で確認してね。



認知症カフェ 約12万円

説明 社会福祉センター内の食堂を利用する。糸田町地域包括センターが主体でおこなう。備品25,000円、食糧費30,000円など。

認知症カフェってどんなところ?
 認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家などが気軽に集い、情報交換や相談、認知症の予防や症状の改善を目的とした活動などのできる場所。介護者の心のケアもできるよ。



企画調査費・備品購入費 約34万円

小型無人航空機(ドローン)の購入
Q どのような使い方をするのか。
A 人が入れない建物や危険箇所を撮影するため。
 ※他に安全に操作するための研修費として約16万円を計上。



糸田祇園祭振興券補助金 約109万円

説明 1,000円×1,000セット、印刷代9万円
Q どのような仕組みになっているか。
A 観光推進のため、道の駅で2,500円以上買い物をするると1,000円の振興券がもらえる。祇園山笠の期間で使い切ってもら予定。

公共施設

(隣保館、町立両保育所、町民体育館) 耐震調査委託料 約1,751万円

説明
 隣保館 約544万円 東保育所 約323万円
 西保育所 約296万円 町民体育館 約588万円
Q 耐震がないとなれば工事費等は別にかかるのか。
A かかるが、調査をしないと補助金の対象とならない。

歳入 町に入る お金の見込み

その他
 (住宅使用料・保育料・借地料・基金利子等)
 4億5,200万円 (9.6%)

地方消費税交付金等 1億5,900万円 (3.4%)
 積立基金からの繰入金 3億1,800万円 (6.8%)
 借りるお金 2億4,600万円 (5.2%)

住民税・固定資産税等の みなさんからの税金 5億1,300万円 (10.9%)

国県からもらうお金
 (国県支出金)
 9億3,400万円
 (19.8%)

国からの交付税
 20億8,500万円
 (44.3%)

その他、ふるさと納税の今年の目標は1,000万円に近づけるね。

ふるさと糸田町を応援してほしいね。



災害に備える予算計上される。平成29年度 命を守る防災予算決まる!! 一般会計予算の概要

☆町の道路や町営団地などの工事
 ☆公共施設(町民体育館、隣保館、町立両保育所)耐震調査委託料
 ☆公立病院改革プランに基づく繰出金などが計上されました。
 また、前年度事業の町営宮床団地A・B棟本体工事及び県営伊良原ダム建設負担金の減により、対前年度当初予算比は、6億6,700万円、12.4%の減額予算となりました。

総務文教振興常任委員会

総務文教振興常任委員会とは…

主に、総務課・税務課・地域振興課・教務課に関する事項を審議調査します。

糸田町 奨学金 給付条例

田川市郡の広域事業の一つとして実施

説明 対象者は大学の第1学年、専修学校の第1学年、高等専門学校第4学年等

Q 給付要件はどのような判断となるのか。

A 奨学生選考委員会で審議する。
選考委員会の委員構成は町議会議員 2名、教育長、教育委員会委員 1名、学識経験者 2名

糸田町 税 条例等の一部を改正する条例

説明

自動車取得税の廃止（消費税率10%時点平成31年10月1日）による軽自動車の環境性能割が新設。税率、徴税方法を規定するもの。

環境にやさしい車は税金が安い!



泌団地集会所等鉱害復旧打切 賠償金 約5,940万円 (平成28年度糸田町一般会計補正予算)

Q 賠償金は何に使うのか。

A 造成等に使う。

Q 復旧して建替えるのか。

A 建替えない。



糸田町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

説明

農業委員会等に関する法律の改正によるもので、農地利用最適化交付金が創設されることに基づき、本町農業委員会委員等の報酬に能率給を規定するもの。
農地集積等の成果実績により国から交付される能率給。



ふるさと寄附金 603万円 目標を超える (平成28年度糸田町一般会計補正予算)

Q 平成28年度の当初の寄附の目標より多くなったのか。

A 目標を超えたので、当初405万円を603万円に補正を組んだ。

糸田町 空き家 等の適正管理及び活用促進に関する条例

Q 特定空き家の特定ができた?

A 今後条例に基づいて実施していく。
空き家等対策協議会も設置する。委員の規則等は6月までにつくる。



建設厚生常任委員会

建設厚生常任委員会とは…

主に、住民課・福祉課・建築課・土木課・水道課・町立緑ヶ丘病院に関する事項を審議調査します。

地域介護・福祉空間整備等事業 (高齢者等介護施設への防犯カメラ・人感センサー等設置事業) 約471万円 (平成28年度糸田町一般会計補正予算)

説明 昨年の障害者施設の事件などがあり、国からの防犯対策により設置。事業費は、施設が50%、国の補助金が50%、1件につき、上限が90万円。



平成29年度 国民健康保険 事業勘定特別会計 14億5千万円

説明 前年より1億3千400万円の増
主なものとして保険給付費があげられる。医療費が年々増額していている。
平成30年度より県が財政運営の主体となり、国保事業を市町村とともに促進するようになる。

下田川清掃施設組合負担金 約△2,149万円 (減額) (平成28年度一般会計補正予算)

(当初予算額) 約1億7,970万円
(補正予算額) 約△2,149万円
(負担額) 約1億5,821万円
負担割合 (人口割50%、処理量割50%)
平成28年度は負担率27.44%となる見込み



町内 排水管 布設替工事等 約4,340万円

◆老朽管布設替(桃山 465m)
数年前から改良工事を実施。今年度で桃山地区の大きな管の改良工事は完了。

◆石綿管布設替(上糸田 345m)

Q 石綿管は、どれくらいあるのか
A 本年度の工事が終了すると残りは2.3kmとなる。



宮床団地建設 工事関係

◆平成28年度糸田町一般会計補正予算 約1億128万円の減額

◆第1期工事費分
工事総額 約10億2,899万円
(解体撤去工事・排水管工事・造成工事・建設工事・屋外付帯工事)

◆平成29年度糸田町一般会計予算 予算額 約9,226万円
(宮床団地の解体・造成)



区分	摘要	支払金額
1月12日 会費	部落解放同盟田川地区協議会 2017年新年旗開き会費	2,000円
1月23日 交際費	県外視察研修手土産代	7,603円
1月24日 会費	田川青年会議所新春祝賀会費	7,000円
3月17日 慶弔費	和太鼓たぎり全国大会出場祝儀	30,000円
合計		46,603円

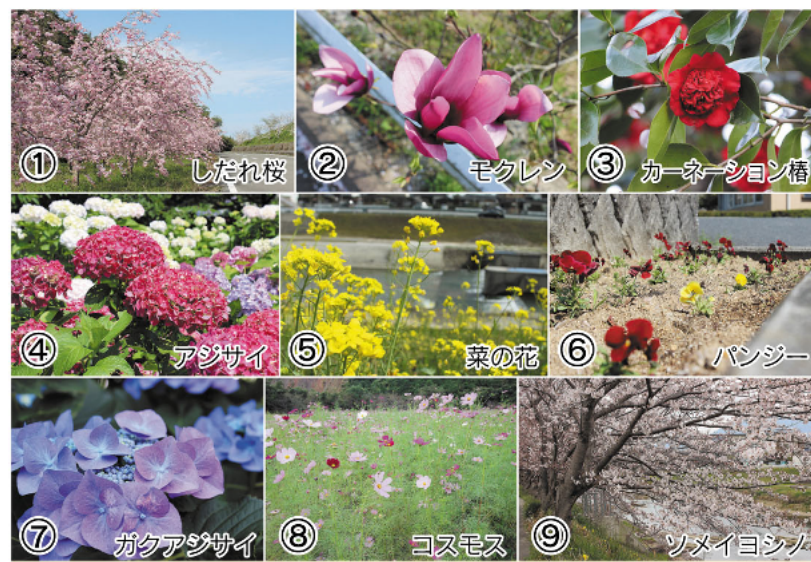


糸田町公式ホームページでも公開しています。

入札結果

工事名	業者名	予定額(円)	金額(円)	落札率(%)
糸田中学校 多目的便所設置工事	泌泉建設	1,859,000	1,850,000	99.52%

表紙の答え



- ① 金山工場用地(アジサイ園)
- ② 金山工場用地(アジサイ園)
- ③ 金村神社
- ④ 金山工場用地(アジサイ園)
- ⑤ 中元寺川河川敷
- ⑥ 糸田町役場
- ⑦ 金山工場用地(アジサイ園)
- ⑧ 金山工場用地(アジサイ園)
- ⑨ 中元寺川河川敷

わかったかなあ~?



議会活動

日にち(曜日)	内容
8日(日)	下田川二ヶ町連合消防出初式 糸田町成人式「はたちのつどい」
12日(木)	部落解放同盟田川地区協議会旗開き
13日(金)	介護保険広域連合田川・桂川支部運営委員会
16日(月)	議会広報常任委員会 総務文教振興委員会
17日(火)	田川地区水道事業議員研修会
19日(木)	福岡県町村議会議長会議員研修会
24日(火)	田川青年会議所新春式典
25日(水)	
26日(木)	糸田町議会議員県外視察研修
27日(金)	
30日(月)	議会運営委員会

日にち(曜日)	内容
1日(水)	田川郡町村議会議長会
2日(木)	視察研修
6日(月)	平成29年第1回糸田町議会臨時会
8日(水)	下田川清掃施設組合議会
12日(日)	少年の主張田川地区大会
19日(日)	和太鼓たぎり全国大会出場記念演奏会
20日(月)	福岡県町村議会議長会定期総会
24日(金)	田川地区水道企業団議会定例会
27日(月)	議長団説明
28日(火)	糸田町消防委員会

日にち(曜日)	内容
6日(月)	議会運営委員会 議会広報常任委員会
8日(水)	本会議初日
9日(木)	本会議2日目 全員協議会
10日(金)	糸田中学校卒業式 防災講演会
11日(土)	平成29年3・11避難誘導訓練
13日(月)	建設厚生常任委員会
14日(火)	田植祭視察
15日(水)	
16日(木)	総務文教振興常任委員会
17日(金)	議会広報常任委員会 糸田小学校卒業式
20日(月)	福智町図書館・歴史資料館開館記念式典
21日(火)	本会議最終日
22日(水)	田川地区斎場組合議会 田川地区消防組合議会定例会 田川郡東部環境衛生施設組合 田川郡町村議会議長会現地視察 いとだっ子の健全育成講演会
25日(土)	町立両保育所卒園式
28日(火)	議会広報常任委員会(取材)
30日(木)	議会広報常任委員会



町の安心・安全！
人にやさしい施設
ができていますよ。



田川市郡初の
避難所・備蓄
倉庫併設施設
だよ！



田川警察署糸田交番完成



▷ 役場横 (平成29年4月撮影)

避難所・備蓄倉庫新設
工事で災害時の安心・安全



◁ 大熊分譲地内



◁ 倉庫内

糸田中学校多目的便所
設置工事でより使いやすく



修理田橋 完成間近



平成筑豊鉄道の糸田駅1号
横断歩道橋が補修完了



未来の宝

いとだつ子

スポーツ少年団 少林拳



「少林拳は中国の僧たちから始まった武術である」と語るのは日本高山少林拳連盟理事である斉藤秀光氏、糸田教室の指導者でもある。子どもたちは年に2回ある大会にむけ、一生懸命練習に励む。

師範の手島幸一氏の指導で柔軟体操からはじまる。——
ストレッチに練習時間の半分を使う理由は——
斉藤氏 身体をとにかくやわらかくすることが動きの基
本である。

——リーダー役の岸田美舞輝君(高校2年生)に聞く——
岸田君 小さい子どもたちが言ったことをしてくれただけ
とてもうれしい。

自身も成長できる。
練習は実践の感じで行っている。精神面・体力も
鍛えられる。

——熱心にサポートする保護者たちの思いは——
ママたち 初めは遊び半分に子どもたちは参加したが、試合にできるよう
になると目標ができ、もつと上、勝ちたいといった気持ちにな
り、本気になって練習するようになった。礼儀正しくお兄ちゃ
んたちがとても優しい。顔つきが変わってきた。

形と乱取りの練習に入ると腹から声を出し、目と身は鋭く動き、強い
心が表されてくる。

「未来の宝」夢に向かって光り輝け!!!



議会を傍聴に来ませんか

- 議会の定例会は(年4回) 3・6・9・12月に開催されます。
- 本会議は、住所と氏名を記入だけで傍聴できます。
- 委員会は、委員長許可により傍聴できます。
- 次回第2回は、6月上旬に開催予定です。
(詳細につきましては、決定次第、防災行政無線等でお知らせします。)

「議会だより」アンケート 募集中!

皆様の声をお聞
かせください。



設置場所

- ・糸田町役場1階 住民課前
- ・糸田町役場3階 議場傍聴席入口
- ・糸田町社会福祉センター 入口正面

編集後記

町民の方から議会だよりの編集についてご意見や確かなアドバイスを頂く。大変参考になり、励みにもなる。伝える難しさを痛感することばかりであるが、議会の記録として残っていくということは広報委員として誇りに思う。議会の議事録というものはあるが、写真や町の様子などはない。「議会だより」発行によって町民との交流もできる。

今号で、広報委員5名が6月定例会より交替する。「未来の宝」の取材は今回、委員全員で行こうということになり、児童館へ行った。柔軟体操に数分間参加したが、太ももはガクガクになり数日間筋肉痛になったが、子どもたちと笑いながら交流できたことは楽しい時間になった。



議会広報常任委員会

- 委員長 小嶋 康子
- 副委員長 松瀬 征行
- 委員 竹田 照美
- 委員 松岡 久
- 委員 中原 詔藏
- 委員 井手元 正人

発行責任者

- 議長 井手元 正人

問い合わせ

- 〒822-1392
- 糸田町 1975 番地 1
- 糸田町議会事務局
- 電話 26-4353